

<p>上級クラス Advanced Class</p>	<p>A(SS)–COMP</p>
<p><u>クラス名 Title</u> <small>めい</small> <small>ぎ のうべつ じょうきゅう さくぶん</small> 【技能別】 上級 作文 Advanced: Composition</p>	<p>プレースメントテスト [ある] <small>めんせつ</small> 面接 [ない]</p>
<p><u>講師 Instructor</u> <small>こうし</small> <small>いえもと たろう</small> 家本 太郎 (IEMOTO, Tarou)</p>	
<p><u>教科書 Textbook</u> <small>きょうかしょ</small> <small>はいふ</small> プリント配布 <small>さんこうとしょ だいがく だいがくいんりゅうがくせい にほんご ろんぶんさくせいへん</small> [参考図書：『大学・大学院留学生の日本語4 論文作成編』(アルク)]</p>	
<p><u>授業の進め方 Content of the class</u> <small>じゅぎょう すす かた</small> <small>じゅぎょう まいかいろんじゅつぶん か じていど がくじゅつてきろんじゅつ ひつよう</small> 授業では毎回論 述 文を課す(400字程度)。プリントでも学 術 的 論 述 に 必 要 <small>ひょうげん まな ひょうげん あ</small> な 表 現 を 学 び、 表 現 レベルを上げていく。</p>	
<p><u>到達の目標 Goals of the class</u> <small>どうたつ もくひょう</small> <small>にほんご がくじゅつろんぶん か ちから がくじゅつてきひょうげん</small> ①日本語でレポートや学 術 論 文 などを書 く 力 を つ け る た め に、学 術 的 表 現 で <small>つか ぶんけい ひょうげん てんかい しゅうとく</small> よく使 わ れ る 文 型、表 現 や 展 開 パ タ ー ン を 習 得 す る。 <small>いんようぶんけん もち ろん ぎじゅつ み</small> ②グラフや引用文献を用いて、それについて論 じ る 技 術 を 身 に つ け る。</p>	
<p><u>評価の方法 Assessment</u> <small>ひょうか ほうほう</small> <small>じゅぎょう か ろんじゅつかだい ひょうか しゅつせき</small> 授 業 で 書 い た 論 述 課 題 の 評 価 と 出 席 に よ る。</p>	
<p><u>その他の注意 Miscellaneous</u> <small>た ちゅうい</small></p>	

上級クラス Advanced Class	A(SS)–CONV
<u>クラス名 Title</u> <small>ぎ のうべつ じょうきゅう かいわ</small> 【技能別】 上級 会話 Advanced: Conversation	プレースメントテスト [ある] <small>めんせつ</small> 面接 [ない]
<u>講師 Instructor</u> <small>かわかみ しきこ</small> 河上 志貴子 (KAWAKAMI, Shikiko)	
<u>教科書 Textbook</u> <small>ひつよう おう じゆぎょうちゆう しりょう はいふ</small> 必要に応じて、授業中に資料を配布する。	
<u>授業の進め方 Content of the class</u> <small>げんだいしゃかい もんだい と あ ほんぐみ きろくえいが とくしゅう だいざい</small> ・ 現代社会のさまざまな問題を取り上げたニュース番組、記録映画や特集を題材にして、ディスカッション、グループワークや口頭発表をもって、より専門的な内容について説明する練習や議論する練習を重ねる。また、情報収集などの場面で、欲しい情報を効率よく入手できるように質問の工夫や練習もする。 <small>かいせつ とくゆう ひょうげん み ふくざつ なんい ど たか ことがら ごかい</small> ・ ニュース解説などの特有の表現を身につけ、複雑で難易度の高い事柄を誤解のないように、また簡潔に伝えられるように練習を行う。 <small>かい かいわ ほうおん しょう じっし よてい</small> ・ 2～3回、会話・発音の小テストも実施する予定である。	
<u>到達の目標 Goals of the class</u> <small>ろんせつ しゆし せいかく はあく てきかく か かんけつ あいて せつめい</small> ・ ニュースや論説の趣旨を正確に把握し、的確に、且つ簡潔に相手に説明できるようにする。 <small>すうにん かいわ ぎろん ぼ じぶん いけん わ まと こうりつ たしや</small> ・ 数人による会話や議論の場で、自分の意見を分かりやすく纏めて、効率よく他者に伝えることができるようにする。また、表現への配慮をしつつ、バランスよく意見を尋ねたり、同意や反論を述べたりするなど、相手に不快感を与えない会話を行うための工夫ができるようにする。 <small>じょうきゅう にほんごのうりよくしけん そうとう ぶんぼう ごい ぼめん つか</small> ・ 上級レベル(日本語能力試験N1に相当)の文法や語彙をさまざまな場面で使えるように応用力を身につける。	
<u>評価の方法 Assessment</u> <small>しゅつせき じゅうし まいかい がくしゅうかつどう せつきよくてき さんか もと</small> ・ 出席を重視する。このクラスでは、毎回の学習活動への積極的な参加が求められる。このほか、小テストと口頭発表も評価の対象とする。	
<u>その他の注意 Miscellaneous</u> <small>しよにち じっし かなら しょかい しゅつせき</small> ・ 初日にプレテストを実施するので、必ず初回から出席すること。	

<p>上級クラス Advanced Class</p>	<p>A(SS)–R</p>
<p><u>クラス名 Title</u></p> <p><small>めい</small> 【技能別】 上級 講読 Advanced: Reading</p>	<p>プレースメントテスト [ある] <small>めんせつ</small> 面接 [ない]</p>
<p><u>講師 Instructor</u></p> <p><small>あおたに まさやす</small> 青谷 正妥 (AOTANI, Masayasu)</p>	
<p><u>教科書 Textbook</u></p> <p><small>いのうえせいび あがわひろゆき しんちょうぶんこ</small> 『井上成美』阿川弘之 (新潮文庫)</p>	
<p><u>授業の進め方 Content of the class</u></p> <p><small>どっかい</small> 読解のクラスですが、<small>かんれんじこう はな あ すこ はい</small> 関連事項の話し合いも少しは入ります。</p>	
<p><u>到達の目標 Goals of the class</u></p> <p><small>かた ぶん な とも せんそう はんたい にほんさいご かいぐんたいしょう い ざま まな</small> やや堅めの文に慣れると共に、戦争に反対した日本最後の海軍大将の生き様を学びます。</p>	
<p><u>評価の方法 Assessment</u></p> <p><small>じゅぎょう さんか</small> 授業への参加。</p>	
<p><u>その他の注意 Miscellaneous</u></p> <p><small>むずか</small> 難しいので、<small>ほんぜんたい よ こと で き</small> 本全体を読む事は出来ません。<small>とちゅう と</small> 途中を飛ばしたりします。</p>	

上級クラス Advanced Class	A(SS)–G
<u>クラス名 Title</u> <small>ぎ のうべつ じょうきゅう そうごうぶんぽう</small> 【技能別】 上級 総合文法 (1) Advanced: Grammar (1)	プレースメントテスト [ある] <small>めんせつ</small> 面接 [ない]
<u>講師 Instructor</u> パリハワダナ ルチラ (PALIHAWADANA, Ruchira)	
<u>教科書 Textbook</u> プリント配布 <small>さんこうとしょ とし つか にほんごひょうげんぶんけい にほんごぶんけい</small> [参考図書: 『どんな時どう使う日本語表現文型500』 (アルク)、 『日本語文型辞典』 (くろしお出版)]	
<u>授業の進め方 Content of the class</u> <small>にほんごのうりょくしけん ひょうげんぶんけい はばひろ と あ</small> 日本語能力試験 N1 レベルの表現文型を幅広く取り上げながら、それらの <small>いみ ようほう かいせつ まな ぶんけい じっさい つか しんぶん き じ ずいひつ もち</small> 意味・用法を解説する。学んだ文型が実際に使われている新聞記事や随筆などを用 <small>さまざま おうようれんしゅう とお うんりょく しゅうとく め ざ</small> いた、様々な応用練習を通して運用力の習得を目指す。 <small>さら げんごかん やしな にほんごひょうげん</small> 更に、言語観を養うために日本語表現についてのクイズやディスカッションも <small>おこな よてい</small> 行う予定である。	
<u>到達の目標 Goals of the class</u> <small>にほんごのうりょくしけん ひょうげんぶんけい しゅうとく はいけい</small> 日本語能力試験 N1 レベルの表現文型を習得しながら、それらの背景にある <small>にほんご し かりいりょく やしな</small> 日本語の仕組みについても理解力を養う。	
<u>評価の方法 Assessment</u> <small>きまつ しゅう かだいていしゅう はつびょう じゅぎょうさんかどあい しゅうせき そうごう ひょうか</small> 期末テスト、小テスト、課題提出、発表、授業参加度合、出席を総合して評価 する。	
<u>その他の注意 Miscellaneous</u> <small>じょうきゅうそうごうぶんぽう こと ぶんぽうこうもく と あ</small> 上級総合文法(1)、(2)クラスで異なった文法項目を取り上げるので、1コマのみ <small>じゅこう かのう ぜんぶんぽうこうもく しゅうとく ばあい はるがつき あき</small> の受講も可能である。N1 レベルの全文法項目を習得したい場合は、春学期、秋 <small>が つけ けい ぞく りょう ごう けい じゅ こう</small> 学期継続して(1)、(2) 両クラス (合計4クラス) を受講すること。	

上級クラス Advanced Class	A(SS)–G
<u>クラス名 Title</u> <small>めい</small> 【技能別】 上級 総合文法 (2) Advanced: Grammar (2)	プレースメントテスト [ある] <small>めんせつ</small> 面接 [ない]
<u>講師 Instructor</u> パリハワダナ ルチラ (PALIHAWADANA, Ruchira)	
<u>教科書 Textbook</u> <small>はいふ</small> プリント配布 <small>さんこうとじょ</small> [参考図書: 『 <small>どんなとき</small> <small>つか</small> <small>にほんごひょうげんぶんけい</small> <small>にほんごぶんけい</small> どの時どう使う日本語表現文型500』 (アルク)、 『 <small>にほんごぶんけい</small> <small>じてん</small> <small>しゅつぱん</small> 日本語表現文型辞典』 (くろしお出版)]	
<u>授業の進め方 Content of the class</u> <small>にほんごのうりょくしけん</small> <small>ひょうげんぶんけい</small> <small>なか</small> <small>じゅうよう</small> <small>こうもく</small> <small>せんたく</small> 日本語能力試験 N1 レベルの表現文型の中から重要な項目を選択し、それら <small>いみ</small> <small>ようほう</small> <small>かいせつ</small> <small>と</small> <small>あ</small> <small>ひょうげん</small> <small>つか</small> <small>ぶんしょう</small> <small>どっかい</small> <small>れいぶん</small> <small>さくせい</small> の意味・用法を解説する。取り上げる表現を使った文章の読解や例文の作成な <small>おうようれんしゅう</small> <small>とお</small> <small>うんりょく</small> <small>しゅうとく</small> <small>めざ</small> どの応用練習を通して運用力の習得を目指す。 <small>と</small> <small>あ</small> <small>ぶんぼうこうもく</small> <small>きづ</small> <small>ごよう</small> <small>つか</small> <small>かた</small> 取り上げる文法項目について、気づきにくい誤用やわかりにくい使い方などに <small>しょうてん</small> <small>あ</small> <small>てきぎ</small> <small>おこな</small> <small>ぼ</small> <small>ご</small> <small>ひかく</small> <small>おこな</small> 焦点を当てながら適宜ディスカッションを行う。母語との比較などを行うこと <small>ひょうげん</small> <small>つか</small> <small>かた</small> <small>げんり</small> <small>しゅうとく</small> によって、それらの表現の使い方の原理を習得する。	
<u>到達の目標 Goals of the class</u> <small>にほんごのうりょくしけん</small> <small>ひょうげんぶんけい</small> <small>しゅうとく</small> <small>はいけい</small> 日本語能力試験 N1 レベルの表現文型を習得しながら、それらの背景にある <small>にほんご</small> <small>しく</small> <small>りかいりょく</small> <small>やしな</small> 日本語の仕組みについても理解力を養う。	
<u>評価の方法 Assessment</u> <small>きまつ</small> <small>しょう</small> <small>かだいていしゅつ</small> <small>じゅぎょうさんかどあい</small> <small>しゅつせき</small> <small>そうごう</small> <small>ひょうか</small> 期末テスト、小テスト、課題提出、授業参加度合、出席を総合して評価する。	
<u>その他の注意 Miscellaneous</u> <small>じゅうきゅうそうごうぶんぼう</small> <small>こと</small> <small>ぶんぼうこうもく</small> <small>と</small> <small>あ</small> 上級総合文法(1)、(2)クラスで異なった文法項目を取り上げるので、1コマのみ <small>じゅこう</small> <small>かのう</small> <small>ぜんぶんぼうこうもく</small> <small>しゅうとく</small> <small>ばあい</small> <small>はるがつき</small> <small>あき</small> の受講も可能である。N1 レベルの全文法項目を習得したい場合は、春学期、秋 <small>がつきけいぞく</small> <small>りょう</small> <small>ごうけい</small> <small>じゅこう</small> 学期継続して(1)、(2) 両クラス (合計4 クラス) を受講すること。	

上級クラス Advanced Class	A(SS)/COMP
<u>クラス名 Title</u> <small>ぎ の う べつ じょうきゆう ぶんしょうほう き そ</small> 【技能別】 上級 文章法基礎 Advanced: Reading / Composition	プレースメントテスト [ある] <small>めんせつ</small> 面接 [ない]
<u>講師 Instructor</u> <small>かわかみ ようすけ</small> 川上 陽介 (KAWAKAMI, Yosuke)	
<u>教科書 Textbook</u> <small>しんぶん ざっし き じ えら はいふ</small> 新聞 (または雑誌) の記事を選んで、コピーを配布する。	
<u>授業の進め方 Content of the class</u> <small>しんぶん き じ よ ないよう りかい はあく かくにん うえ じぶん いけん かいしゃく はな</small> 新聞記事を読み、その内容の理解・把握を確認した上で、自分の意見や解釈を話し <small>あ しゅ こんにち にほん と ま もんだい と あ よてい じぶん くに</small> 合う。主として、今日の日本を取り巻く問題を取り上げる予定である。自分の国と <small>ひかく せっきよくてき いけん だ</small> の比較など、積極的に意見を出してもらいたい。	
<u>到達の目標 Goals of the class</u> <small>しんぶん き じ どう ぶんしょう せいかく どっかい ちから やしな</small> 新聞記事 (あるいは同レベルの文章) を正確に読解する力を養うこと。 <small>じぶん いけん かんが ひょうげん ちから やしな</small> 自分の意見・考えをまとめて、表現する力を養うこと。	
<u>評価の方法 Assessment</u> <small>しゅつせきじょうきょう さんかたいど かんじしゅう ふくしゅう ひょうか</small> 出席状況・参加態度・漢字小テスト・復習テストにより、評価する。	
<u>その他の注意 Miscellaneous</u>	

<p>上級クラス Advanced Class</p>	<p>A(SS)-R/G</p>
<p><u>クラス名 Title</u></p> <p>ぎのうべつ じょうきゅう どっかい ぶんぼう 【技能別】 上級 読解・文法 Advanced: Reading / Grammar</p>	<p>プレースメントテスト [ある] めんせつ 面接 [ない]</p>
<p><u>講師 Instructor</u></p> <p>ほんだ あかり 本多 朱里 (HONDA, Akari)</p>	
<p><u>教科書 Textbook</u></p> <p>ちゅう じょうきゅうにほん ごきょうかしょ にほん しょうたい だい ほん とうきょうだいがくしゅつばんかい 『中・上級日本語教科書 日本への招待 第2版』 (東京大学出版会) ちゅうきゅう じょうきゅう にほんご 『中級から上級への日本語』 (The Japan Times)</p>	
<p><u>授業の進め方 Content of the class</u></p> <p>テキストを音読しながら、意味を理解し、何を述べているのかを各自まとめてもらいます。文法的説明が必要な所は解説します。その後、その内容について、受講生でディスカッションをします。関連する資料を配ることもあります。</p>	
<p><u>到達の目標 Goals of the class</u></p> <p>やや難解な文章の読解や、日本語の文法のさらなる理解をめざすとともに、日本の文化や日常的な問題について自分なりに深く考え、まとめ、その意見を他の人に伝えられる力を身につけることを目標とします。</p>	
<p><u>評価の方法 Assessment</u></p> <p>出席、参加態度、レポートを総合して評価します。</p>	
<p><u>その他の注意 Miscellaneous</u></p> <p>予習する場合は、貸し出し用のテキストを「きずな」から借りることができます。</p>	

上級クラス Advanced Class	A(SS)–LIS
<p><u>クラス名 Title</u></p> <p>めい 【技能別】 上級 聴解 Advanced: Listening</p>	<p>プレースメントテスト [ある] めんせつ 面接 [ない]</p>
<p><u>講師 Instructor</u></p> <p>こうし ありもと まさよ 有本 昌代 (ARIMOTO, Masayo)</p>	
<p><u>教科書 Textbook</u></p> <p>きょうかしょ じゅぎょうちゅう はいふ 授業中に配布する。 さまざまなメディア教材 (ニュースやドキュメンタリー、<small>とうろんばんぐみ</small> 討論番組などの<small>なまきょうざい</small> 生教材) を使用する。</p>	
<p><u>授業の進め方 Content of the class</u></p> <p>じゅぎょう すず かた <ul style="list-style-type: none"> さまざまな分野におけるメディア教材を使用し、聴解力の向上を図る。 主にNHK『クローズアップ現代』などのアカデミックな番組を通し、教育、文学、福祉、環境、科学などの分野に関するアカデミックな語彙や表現の習得、理解を目指す。 情報の聞き取りやシャドーイング、内容に関するディスカッション、要約の練習も行う。 毎回、時事に関するリスニングの小テストを行う。 </p>	
<p><u>到達の目標 Goals of the class</u></p> <p>とうたつ もくひょう <ul style="list-style-type: none"> 高度な日本語の聴解力を養い、情報の背景にある日本文化や社会事情に対する理解も深めることを目指す。 アカデミックな語彙や表現の向上を目指す。 </p>	
<p><u>評価の方法 Assessment</u></p> <p>ひょうか ほうほう しゅつせき じゅうし しょう さいしゅう 出席を重視、小テスト、最終テスト</p>	
<p><u>その他の注意 Miscellaneous</u></p> <p>た ちゅうい</p>	

上級クラス Advanced Class	A(SD)–R
<u>クラス名 Title</u> <small>せんもんべつ じょうきゅう ろんぶんこうどく</small> 【専門別】 上級 論文講読 Advanced: Reading	プレースメントテスト [ある] <small>めんせつ</small> 面接 [ある。ガイダンスをかねる]
<u>講師 Instructor</u> <small>ながやま ひろあき</small> 長山 浩章 (NAGAYAMA, Hiroaki)	
<u>教科書 Textbook</u> <small>にほん づく てつがく ふじもとたかひろ にっぽんけいざいしんぶんしゃ</small> 『日本のもの造り哲学』 (藤本隆宏) 日本経済新聞社 (2004) <small>かつがん かつがく やすおかまさひろ けんきゅうしょ</small> 『活眼 活学』 (安岡正篤) PHP 研究所 (2008)	
<u>授業の進め方 Content of the class</u> <small>こうどく ちゅうしん にほん せいぞうぎょうおよ にほん けいえい きそちしき かんが かつ</small> ・講読を中心に日本の製造業及び日本の経営についての基礎知識と考え方を学ぶ。 <small>がくせい りんどく あと けいざいようご はいけいちしき かいせつ おこな</small> ・学生が輪読をした後、経済用語や背景知識について解説を行う。 <small>ひつよう おう えいぶんわやく しゅくだい だ</small> ・必要に応じて英文和訳の宿題を出す。	
<u>到達の目標 Goals of the class</u> <small>だいがくいん にゅうし ごうかく にほん ごりよく しゅうとく ほ</small> 大学院の入試に合格する日本語力を習得して欲しい。	
<u>評価の方法 Assessment</u> <small>かい しゅつせき そうごうてき ひょうか</small> テスト2回と出席などによって総合的に評価する。	
<u>その他の注意 Miscellaneous</u> <small>なんど たか ようご かいせつ ようやく はいふ じゅんび</small> 難度の高い用語の解説とポイントをまとめた要約を配布するのでテスト準備をすること。	

<p>上級クラス Advanced Class</p>	<p>A(SD)–R/G(CJ)</p>
<p><u>クラス名 Title</u></p> <p>せんもんべつ じょうきゅう ぶんごぶんこうどく 【専門別】 上級 文語文講読 Advanced: Reading / Grammar</p>	<p>プレースメントテスト [ある] <small>めんせつ</small> 面接 [ある。ガイダンスをかねる]</p>
<p><u>講師 Instructor</u></p> <p>もり まりこ 森 眞理子 (MORI, Mariko)</p>	
<p><u>教科書 Textbook</u></p> <p>プリント配布</p>	
<p><u>授業の進め方 Content of the class</u></p> <p>ひょうじゆんにほんご しゅうとく お おも せんこう ぶんごぶん よ ようきゅう がくせい 標準日本語の習得を終え、主に専攻で文語文を読むことを要求される学生に たい ぶんご か ぶんしょう と あ ぶんぼうせつめい くわ き そこうどく おこな 対して、文語で書かれた文章を取り上げ、文法説明を加えながら基礎講読を行 う。明治時代の日本の文学、文化、歴史、法律に関する文章を中心に、順次講読 していき予定である。これまでに、福沢諭吉、森鷗外、中江兆民、『明六雑誌』な どの文章を扱った。</p>	
<p><u>到達の目標 Goals of the class</u></p> <p>きほんてき ぶんごぶん よ ぶん いみ りかい てきせつ げんだいご お か 基本的な文語文を読み、文の意味を理解し、適切な現代語に置き換えることができ る。</p>	
<p><u>評価の方法 Assessment</u></p> <p>しゅつせき じゅぎょうさんかたいど かだいていしゅつ さいしゅう ひょうか 出席、授業参加態度、課題提出、最終テストによって評価する。</p>	
<p><u>その他の注意 Miscellaneous</u></p> <p>おも じんぶんけい がくせい たいしょう ぶんや がくせい じゅこう 主に人文系の学生を対象とするが、どの分野の学生でも受講できる。</p>	

上級クラス Advanced Class	A(SD)–R/COMP
<u>クラス名 Title</u> <small>せんもんべつ じょうきゅう ぶんしょうほう</small> 【専門別】 上級 文章法 Advanced: Reading / Composition	プレースメントテスト [ある] <small>めんせつ</small> 面接 [ある。ガイダンスをかねる]
<u>講師 Instructor</u> <small>もり まりこ</small> 森 真理子 (MORI, Mariko)	
<u>教科書 Textbook</u> <small>はいふ</small> プリント配布	
<u>授業の進め方 Content of the class</u> <small>にほんぶんか にほんしゃかい にほんじんろん げんだいぶんか あつか さまざま ぶんしょう</small> 日本文化・日本社会および日本人論や現代文化を扱った様々なスタイルの文章を <small>ぜんいん よ すす</small> クラス全員で読み進める。 <small>よ あとかなら とうろん じかん じぶん いけん はつびょう よ すす さい</small> 読んだ後必ず討論の時間をとるので、自分の意見を発表すること。読み進める際、 <small>ひつよう かくじん はつおん</small> 必要があれば、各人の発音をチェックすることがある。 <small>ひと かい こうどく とうろん おこな</small> 一つのテーマにつき2–3回の講読・討論を行い、その後テーマにそったレポー <small>ていしゅつ</small> トを提出する。 <small>ていしゅつ かくじん かなら ぐわ へんきやく せつきよくてき</small> 提出された各人のレポートは必ずコメントを加え返却するので、積極的に <small>ぶんしょう か れんしゅう</small> 文章を書く練習をしてもらいたい。 <small>どっかいほう なんど たか ぶんしょう どっかいりよく ようきゅう はつびょう さくぶん</small> なお、読解法では難度の高い文章の読解力も要求されるが、発表や作文では <small>かくじん げんざい かくじつ あ もくひょう</small> 各人の現在のレベルを確実に上げることを目標とする。	
<u>到達の目標 Goals of the class</u> <small>こうぎ りかい ひつよう じょうきゅう にほんごぶん どっかいのうりよく たか じぶん</small> 講義を理解するために必要な上級レベルの日本語文の読解能力を高め、自分の <small>いけん あやま つた こうとうひょうげんのうりよく ぶんしょうか さくぶんのうりよく</small> 意見を誤りなく伝えることのできる口頭表現能力や、文章化する作文能力を <small>やしな</small> 養う。	
<u>評価の方法 Assessment</u> <small>いちがつき すく かい かだい ていしゅつ さいしゅう き</small> 一学期に少なくとも1回の課題レポートを提出し、最終レポートを決められた <small>きじつ か</small> 期日までに書くこと。 <small>じゅぎょう しゅつせき こうどく ぎろん さんか</small> 授業に出席して、講読・議論に参加すること。 <small>せいせきはんてい そうごうひょうか おこな</small> 成績判定はこれらの総合評価によって行う。	
<u>その他の注意 Miscellaneous</u> <small>はいふ ぶんしょう まえ かなら め とお ぎもんでん あき</small> 1. 配布された文章は前もって必ず目を通し、疑問点を明らかにしておくこと。 <small>さんこうとしょなど じゅぎょうちゅう しじ</small> 2. 参考図書等は授業中に指示する。	

<p>上級クラス Advanced Class</p>	<p>A(SD)–P/DIS</p>
<p><u>クラス名 Title</u></p> <p>せんもんべつ じょうきゅう けんきゅうはっぴょう しつぎおうとう 【専門別】 上級 研究発表・質疑応答 Advanced: Presentation / Discussion</p>	<p>プレースメントテスト [ある] めんせつ 面接 [ある。ガイダンスをかねる]</p>
<p><u>講師 Instructor</u></p> <p>ルチラ パリハワダナ (PALIHAWADANA, Ruchira)</p>	
<p><u>教科書 Textbook</u></p> <p>プリント配布 [参考図書:『大学と留学生のための論文ワークブック』(くろしお出版)、『トピックによる日本語総合演習—テーマ探しから発表へ—上級』(スリーエーネットワーク)、『大学・大学院留学生の日本語4 論文作成編』(アルク)]</p>	
<p><u>授業の進め方 Content of the class</u></p> <p>導入、問題提起、データを用いた論拠、結論提示、展望提示などといった研究発表の各部分で用いられる日本語表現の使い方を学ぶ。グループ別に、一つのテーマについて、アウトライン作成から実際の発表を行う段階まで実践を行う。実践を通して日本語の論述スタイルに慣れつつ、日本語のプレゼンテーションスキルを習得する。レジュメ、スライドなどの作成や質疑応答の練習なども行う予定である。</p>	
<p><u>到達の目標 Goals of the class</u></p> <p>学術研究発表のために必要な日本語表現の獲得及びプレゼンテーションスキルの習得を到達目標とする。</p>	
<p><u>評価の方法 Assessment</u></p> <p>発表、授業参加度合、課題提出、出席を基準に評価する。</p>	
<p><u>その他の注意 Miscellaneous</u></p>	